

■平成 28 年度版 サンシャイン第 1 学年 年間指導計画（例） —評価規準作成資料付き—

★①②③＝各課の中のセクション番号

★PU＝POWER-UP / L＝Listening / S＝Speaking / R＝Reading / W＝Writing

★AT＝Action Time（発話者の命令文に対して、聞き手は全身を使って反応する活動）

★WW＝Word Web（数字、曜日、月、序数などの単語の学習）

★MP＝My Project（スピーキング活動）

★PT＝パフォーマンステスト

★関＝コミュニケーションへの関心・意欲・態度／表＝外国語の表現／理＝外国語の理解／知＝言語や文化についての知識・理解

この資料は、生徒の学びの保障を目的に、教科書の内容から「学校の授業で扱う必要がある教材・学習活動」と「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とに区別して、学習活動の重点化の観点から単元ごとの配当時間数、主な学習活動などをご提案するものです。また、以下に示す重点化の考え方によらず、次年度以降を見通した教育課程を編成することも考えられます（以下の指導計画に沿って指導を行い、年度末段階で指導できなかった内容を次学年に移す）。

月	時	課	題材・ねらい	主な言語材料	評価規準	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
			□単元の目標	基本文(抜粋)	[評価の方法]	(色分けされている箇所は教科書のページと同色)
4	3		<p><b>Let's Start</b> (pp.6-13)</p> <p>①あいさつ・簡単な自己紹介</p> <p>②英語を聞いてみる</p> <p>③身の回りにある英単語の学習</p> <p>④英語を聞いたり使ったりする活動 (小学校英語をふりかえる)</p> <hr/> <p>□生徒の英語学習の様子を知る。</p> <p>□積極的に友だちに話しかけたり、相手の話を聞いたりする。</p> <p>□英語らしい音に慣れる。</p>	<p>語句・表現</p> <p>①あいさつ Hello, everyone. How are you? My name is ～. Nice to meet you.</p> <p>②station, police, flower shop, post office, zoo, bookstore, etc.</p> <p>③身の回りのものを英語で hat, cap, jacket, T-shirt, door, etc. 色, 数 (小学校で使った語)</p> <p>④好きなもの, できること (小学校で使った表現) I like ～. Do you like ～? I can ～. Can you ～?</p> <p>音声</p> <p>④英語らしく発音する単語 AT1 walk, run, stop</p>	<p><b>関</b>:積極的に自己紹介をしたり相手の自己紹介を聞いたりしようとしている。 [活動の観察]</p> <p><b>表・理</b>:身の回りのものを英語で聞いて何を表すかがわかる。また、それらを正しく発音できる。 [(後日)対話テスト, リスニングテスト]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>

(4)	3	1	<b>アルファベット</b> (pp.14-21) <b>①②③アルファベットの学習</b>  <input type="checkbox"/> アルファベットを正しく発音したり、書いたりする。 <input type="checkbox"/> 発音とつづりの関係に興味を持つ。	<b>音声</b> ①大文字と小文字 「アルファベット・ソング」 ②アルファベットの文字と発音の関係 フォニックスの基本 <b>文字</b> ③大文字/小文字 <b>AT2-4 touch, write, play, use, eat, etc.</b>	<b>表</b> : 「アルファベット・ソング」を積極的に、正しい発音で歌う。 [活動の観察, 歌のテスト] <b>関</b> : 英語特有の発音を進んで声に出して練習しようとしている。 [活動の観察] <b>知</b> : アルファベットの大文字と小文字を正しく書く。 [(後日)筆記テスト]	※授業で行う必要がある。
	0 (1)	<b>Classroom English</b> (p.22) <b>教室で使う英語になれよう</b>	<b>文法事項</b> Stand up. Sit down. Open your books. Close your books. Repeat after me., etc.	<b>理</b> : 指示どおりに反応する。 [活動の観察]		
		<b>辞書を引いてみよう</b> (p.23)	辞書の基本的な使い方	<b>関</b> : 辞書を活用して、積極的に英語を使おうとしている。 [活動の観察]		
5	3 (1)	2	<b>アメリカからの転校生</b> (pp.24-27) マイクの日本での学校生活の様子。 ①情報を伝え合う。 ②相手がどんな人かたずねる。 <input type="checkbox"/> 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする。 <input type="checkbox"/> be動詞の用法を正しく身につけ、運用する。	<b>文法事項</b> be動詞 (肯定・疑問・否定) ①Hi, <b>I am</b> Yuki. Oh, <b>you are</b> Yuki. <b>I'm</b> Mike. ② <b>Are you</b> a volleyball fan? Yes, I am. / No, I'm not. <b>I'm not</b> a volleyball fan. <b>AT5, 6 read, watch, listen, sing, etc.</b>	<b>関</b> : 積極的に自己紹介をしたり相手の自己紹介を聞いたりしようとしている。 [活動の観察] <b>関・表・理</b> : たずねられたことに対して、適切に応答する。 [(後日)対話テスト, リスニングテスト]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ <b>Speak, Try</b> は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆ <b>Write</b> は、登校した際に先生に提出する。

					(1時間)
1	PU 1	W 単語・文の書き方 (p.28) 単語・文の書き方の学習。	文字及び符号 単語・文の書き方の約束事	知: 単語・文を正しく書く。 [(後日)筆記テスト]	※授業で行う必要がある。
	ww 1	数の言い方 (p.29) 数の言い方の学習。	語句・表現 数字, 年齢, 電話番号, 値段	表・理・知: 数字を正しく伝えたり聞きとったりする。 [(後日)リスニングテスト]	
3 (1)	3	ウッド先生がやってきた (pp.30-33) ALTのウッド先生が教室で行う自己紹介。 ①自分に関する情報を伝える。 ②相手の好きなものをたずねる。 □一般動詞の用法を正しく身につけ, 自分の好きなことやふだんすることについて表現する。	文法事項 一般動詞 (肯定・疑問・否定) speak, have, like, love, read, watch, etc. ①I like music. I like music too. I play the guitar. ②Do you eat <i>sushi</i> ? Yes, I do. / No, I don't. I don't like <i>sushi</i> . AT7, 8 study, enjoy, clean, go, cook, etc.	関: 聞き手にわかりやすい音量で, 積極的に話そうとしている。 [活動の観察] 知: 一般動詞の用法を正しく理解し, 書くことができる。 [ワークシートの分析/(後日)筆記テスト] 表: たずねられたことに対して適切に応答する。 [ワークシートの分析/(後日)対話テスト]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は, 対話する内容を英文で書き, 登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は, 授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後, 残りの問題に取り組み, 登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は, 各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に, 復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は, 日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える, そして, 書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Write は, 登校した際に先生に提出する。 (1時間)
1		アクションコーナー (p.34) (AT1~8 の復習)	文法事項 命令文 Play baseball. 禁止の命令文 Don't [Do not] play baseball. 語句・表現 一般動詞 clean, close, eat, make, etc.	理: 言われたとおりに動作をしたり, 指示をしたりすることができる。 [活動の観察]	※授業で行う必要がある。

		<b>ww</b> <b>曜日と天気の違い</b> (p.35) <b>2</b> 曜日, 天気 の学習。 <hr/> <input type="checkbox"/> 曜日, 天気 の表現を身につけ, 正しく発音する。	<b>語句・表現</b> 曜日 の歌, Sunday ~ Saturday What day is it today? How's the weather today? It's sunny.	<b>関</b> : 積極的に歌おうとしている。 [活動の観察] <b>表</b> : モデルをまねて, 正しく発音する。 [活動の観察]	
6	1	<b>PU</b> <b>L 転校生への質問</b> (pp.36-37) <b>2</b> <input type="checkbox"/> 対話を聞いて, その概要を正しく理解する。	<b>文法事項</b> I like ~. Do you drink ~? No, ~. <b>音声</b> ・ f / v, r, th ・ つづり字と発音の関係	<b>理</b> : 対話を聞いて, その内容をとらえ, 質問に正しく答える。 [記述分析] <b>表</b> : 音を出すときの口の形や, つづりと音の関係に注意して正しく発音する。 [活動の観察]	※授業で行う必要がある。
	4 (2)	<b>4</b> <b>リサイクル活動</b> (pp.38-43) 学校でのリサイクルについての話や, 地域の活動に参加した様子。 ①休日に何をするのか質問する。 ②情報を伝える。 ③数をたずねる質問をする。 <input type="checkbox"/> What の用法を正しく理解し, 運用する。 <input type="checkbox"/> 数を聞く表現を理解し, 運用する。	<b>文法事項</b> What, How many の疑問文/単数・複数の違い ① <b>What</b> do you study on Monday afternoon? I study English and Japanese. ②I have a pencil. How about you? I have two <b>pencils</b> . ③ <b>How many</b> CDs do you have? I have five CDs.	<b>関</b> : 多くの人から情報を得ようとして, 積極的に話しかけている。 [活動の観察] <b>理・知</b> : 書かれている内容を正しく理解する。 [記述分析] <b>表・理</b> : たずねられたことに適切に応答する。 [(後日)対話テスト, リスニングテスト]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ <b>Speak, Try</b> は, 対話する内容を英文で書き, 登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は, 授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後, 残りの問題に取り組み, 登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は, 各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に, 復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は, 日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える, そして, 書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆ <b>Write</b> は, 登校した際に先生に提出する。 (2時間)
	4	<b>MP</b> <b>自分のことを話そう</b> (pp.44-47) <b>1</b> プログラム2~4で学んだ表現を使って自己紹介の文を書き, 発表する。 <input type="checkbox"/> 自己紹介の表現を正しく理解し, まとまりのある英語で表現する。	<b>文法事項</b> I am ~. I'm from ~. I come from ~. I like ~. I play ~. I have ~. I (don't) read ~. I listen to ~.	<b>表・知</b> : be動詞や一般動詞の用法を理解し, 正しく使うことができる。 [記述分析/(後日)PT] <b>表</b> : 適切な声量ではっきりと話す。 [活動の観察]	※授業で行う必要がある。

	1	PU	<b>R 英語の掲示・標識など</b> <b>3</b> (pp.48-49) <input type="checkbox"/> 命令表現を理解し、運用する。 <input type="checkbox"/> まとまりのある英語を読んで、内容を理解する。	<b>文法事項</b> 命令文 Wash your hands. Watch your step. Be ~. Don't be ~.	<b>表</b> : 状況に応じて適切な命令文を使うことができる。 [活動の観察] <b>理</b> : 相手の指示を正しく理解し、適切に応答できる。 [活動の観察]	※授業で行う必要がある。
7	4 (2)	5	<b>国際フードフェスティバル</b> <b>(pp.50-55)</b> 国際フードフェスティバル会場と家での会話の様子。 ①海外の食べ物について質問する。 ②どこにあるのか質問する。 ③家族について説明する。 <hr/> <input type="checkbox"/> be動詞の表現を正しく身につけ、運用する。 <input type="checkbox"/> 場所を聞く表現を正しく理解し、運用する。	<b>文法事項</b> this, that / Whereの疑問文 / he, she ① <b>This is my bag. Is that your bag?</b> Yes, it is. / No, it isn't. ② <b>Where is my key?</b> It's on the table. ③ <b>This is my brother. He is a teacher.</b> This is my sister. <b>She is a teacher too.</b>	<b>関・表</b> : わからなことがあっても聞き返すなどして、聞き続けようとしている。 [活動の観察] <b>理</b> : ものの位置を正しく聞きとる。 [記述分析] <b>表</b> : 聞き手を意識してわかりやすく話すことができる。 [(後日)対話テスト]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Write は、登校した際に先生に提出する。 (2時間)
	2	PU	<b>S 時刻をたずねる</b> (pp.56-57) <b>4</b> <input type="checkbox"/> 時刻をたずねる表現を正しく身につけ、運用する。	<b>文法事項</b> <b>What time is it? It's twelve o'clock.</b> <b>What time do you usually eat lunch?</b> At twelve thirty.	<b>関</b> : 積極的に相手に話しかけ、情報を得ようとしている。 [活動の観察] <b>表・知</b> : 時刻のたずね方を知っている。 [(後日)ペーパーテスト]	※授業で行う必要がある。

0 (1)		<b>英語のしくみ ① (pp.58-59)</b> <input type="checkbox"/> be動詞や一般動詞の文、命令文の構造について理解する。 <input type="checkbox"/> 複数形の作り方を理解する。	<b>文法事項</b> be動詞／一般動詞／命令文／複数形 <b>音声</b> イントネーション、リズム	<b>表・知</b> ：語順やつづりに注意して書く。 [(後日)ペーパーテスト] <b>表・知</b> ：イントネーションやリズムに注意して、正しく発音する。 [活動の観察]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
9 (2)	4 6	<b>由紀のイギリス旅行 (pp.60-65)</b> 由紀とイギリスの友だちのロンドン市内観光の様子。 ①③第三者について描写する。 ②第三者について質問する。 <input type="checkbox"/> 第三者が主語になる場合の一般動詞の用法を正しく理解し、運用する。	<b>文法事項</b> 3単現の-(e)s (肯定・疑問・否定) ①Do you play <i>shogi</i> ? Yes, I do. My sister <b>plays</b> it too. ②Does Kenji like English? Yes, he <b>does</b> . / No, he <b>doesn't</b> . ③Does your father play any sports? No, he doesn't. He <b>doesn't</b> like any sports.	<b>関</b> ：わからない語句があっても、読み進めようとしている。 [記述分析] <b>理</b> ：大切な部分を読みとることができる [記述分析] <b>表</b> ：正しい語句や表現を用いて話すことができる。 [活動の観察]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Q, Write は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。 (2時間)
1	ww 3	<b>季節・月の名前と順番・日付の言い方 (pp.66-67)</b> <input type="checkbox"/> 月や順番を表す言い方を知る。	<b>語句・表現</b> 季節・月の名前、序数 (日付)	<b>表・知</b> ：月の名前と順番を表す言い方を知っている。 [(後日)ペーパーテスト]	※授業で行う必要がある。
10	4 (2)	<b>The Wonderful Ocean (pp.68-73)</b> 北海道のシャチとイルカについて。 ①登場人物がだれなのかたずねる。	<b>文法事項</b> Who, When の疑問文/her, him ①Who is that boy?	<b>関</b> ：ヒントを聞き、話を聞き続けようとしている。 [活動の観察] <b>理</b> ：話の内容を正しく聞きとる。	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生

		<p>②シャチの親子関係を描写する。</p> <p>③イルカが来る時期をたずねる。</p> <p>□疑問詞who, whenで始まる文を正しく理解し、運用する。</p> <p>□代名詞の変化を覚えて使えるようにする。</p>	<p>He is my friend Tom.</p> <p>②This is my friend Miki. I like <b>her</b>.</p> <p>I know her brother. I like <b>him</b>.</p> <p>③<b>When</b> do you usually clean your room?</p> <p>On Saturday mornings.</p>	<p>[活動の観察]</p> <p><b>表・知</b>：正しい代名詞の格を用いて表現する。 [記述分析]</p> <p><b>表・知</b>：質問に適切に応じる。 [(後日)対話テスト]</p>	<p>に提出する。</p> <p>◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。</p> <p>◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。</p> <p>◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】</p> <p>◆Q, Write は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。</p> <p>(2時間)</p>
2	PU 5	<p><b>S 持ち主をたずねる</b> (p.74)</p> <p>□疑問詞which, whose で始まる文を正しく理解する。</p>	<p>文法事項</p> <p>Which, Whose の疑問文</p>	<p><b>関</b>：モデルをよく聞き、意欲的にまねしようとする。 [活動の観察]</p> <p><b>表</b>：正しいリズムやイントネーションで発音する。 [活動の観察]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>
1	PU 6	<p><b>L ラジオ放送</b> (p.75)</p> <p>□まとまりのある英語を聞いて理解する。</p> <p>□発音の速度や語と語の連結による音の変化に慣れる。</p>	<p>語句・表現</p> <p>take a picture</p>	<p><b>理</b>：まとまりのある英文を聞いて、要点を理解する。 [記述分析]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>
0 (1)		<p><b>英語のしくみ ②</b> (pp.76-77)</p> <p>□英語の人称や代名詞の格変化について理解する。</p>	<p>文法事項</p> <p>代名詞 / 3人称・単数・現在</p>	<p><b>理</b>：人物の特徴を読みとる。 [記述分析]</p>	<p>本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。</p> <p>◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。</p> <p>◆練習問題に取り組む。【解答が必要】</p> <p>◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読してみる。登校した際、先生に読み方を確認する。</p> <p>(1時間)</p>
11	4 8	<p><b>Origami</b> (pp.78-83)</p>	<p>文法事項</p>	<p><b>関</b>：積極的に話しかけようとしている</p>	<p>本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内</p>

(2)		<p>大介が教室で折り紙について話す。</p> <p>①自分のできることを説明する。</p> <p>②できることをたずねる，答える。</p> <p>③手段について質問する。</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/>助動詞の用法について正しく理解し，運用する。</p>	<p>can (肯定・疑問・否定) / How の疑問文</p> <p>①Tom speaks Japanese well. Yes. He <b>can</b> read <i>kanji</i> too.</p> <p>②<b>Can</b> you ski? Yes, I <b>can</b>. / No, I <b>can't</b>.</p> <p>③<b>How</b> do you come to school? I come to school by bike.</p>	<p>る。 [活動の観察]</p> <p><b>表・知</b>: 伝えたい内容を正しく言う。 [活動の観察]</p> <p><b>理</b>: 主人公の気持ちの動き，状況，その後などを正確に理解しているか。 [記述分析]</p>	<p>容は以下のとおり。</p> <p>◆<b>Speak, Try</b> は，対話する内容を英文で書き，登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は，授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後，残りの問題に取り組み，登校した際に先生に提出する。</p> <p>◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は，各自で復習し定着を図る。</p> <p>◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に，復習し定着を図る。</p> <p>◆余裕のある生徒は，日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える，そして，書けるように練習をする。【本文訳が必要】</p> <p>◆<b>Q, Write</b> は，英文で書いて表現できるものは，登校した際に先生に提出する。</p> <p style="text-align: right;">(2時間)</p>
2	PU 7	<p><b>S 許可を求める・依頼する</b> (p.84)</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/>許可を求める，依頼する定型表現を正しく理解し，運用する。</p>	<p>文法事項</p> <p><b>Can I</b> ~?</p> <p><b>Can you</b> ~?</p>	<p><b>関</b>: 積極的に話しかけようとしている。 [活動の観察]</p> <p><b>表</b>: 相手に正しく伝えることができたか。 [活動の観察]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>
1	PU 8	<p><b>L 仮装パーティー</b> (p.85)</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/>Who, Whereなどの既習事項の対話を正しく聞きとる。</p>	<p>語句・表現</p> <p>dress, wing</p> <p>Who's ~? Where's ~? Yes, let's.</p>	<p><b>理</b>: まとまりのある英文を聞いて，要点を正しく理解する。 [記述分析]</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>
4	MP 2	<p><b>人を紹介しよう</b> (pp.86-89)</p> <hr/> <p>既習事項を用いて，好きな人を紹介する。</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/>自分の好きな人のことをスピーチの形式で表現する。</p>	<p>文法事項</p> <p>This is ~.</p> <p>He [She] is ~.</p> <p>My brother [sister] ~.</p> <p>He [She] doesn't ~.</p> <p>He [She] is my ~.</p> <p>This is my friend Miki. I ~.</p>	<p><b>理</b>: 大切な情報を正確に読みとり，概要を理解する。 [記述分析]</p> <p><b>表</b>: 伝えたい内容を整理して，まとまりのある文章を書く。 [記述分析]</p> <p><b>関・表</b>: 聞き手が理解しやすいように工夫して話す。 [活動の観察]</p> <p><b>表</b>: 言いたいことが相手に伝わるよ</p>	<p>※授業で行う必要がある。</p>



					うにポイントを強調して話す。 [活動の観察]	
12	4 (2)	9 <b>A New Year's Visit</b> (pp.90-95) 元日の朝にかかってきた電話をめぐって、ある家族が話している様子。 ①状況を説明する。 ②電話で状況を報告する。 ③今していることについてたずねる。 □今していることを表す表現を正しく理解し、運用する。 □電話の応答に必要な定型表現を覚え、運用する。	<b>文法事項</b> 現在進行形（肯定・疑問） ①Can you help me? Sorry, I can't. I'm <b>cooking</b> now. ②Are you <b>studying</b> now? No, I'm not. I'm listening to music. ③ <b>What are you doing?</b> I'm watching TV. <b>語句・表現</b> Hello, this is ~. Hold on, please.	<b>関</b> : つなぎ言葉などを用いて、積極的に話を続けようとしている。 [活動の観察] <b>表</b> : 伝えたいことを正しく話す。 [活動の観察] <b>表・理</b> : たずねられたことについて適切に応答することができる。 [活動の観察]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は、対話する内容を英文で書き、登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は、授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後、残りの問題に取り組み、登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は、各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に、復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は、日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える、そして、書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Q, Write は、英文で書いて表現できるものは、登校した際に先生に提出する。  (2時間)	
	1	PU 9 <b>R 想像しながら読んでみよう</b> (pp.96-97) □まとまりのある文章を読んで、内容を理解する。	<b>語句・表現</b> Look at the picture. You can see .... A baby is sitting on the floor.	<b>関</b> : 辞書を使って積極的に読もうとしている。 [活動の観察] <b>理</b> : 話のあらすじや大切な部分を読みとることができる。[記述分析]	※授業で行う必要がある。	
	0 (1)	<b>英語のしくみ ③</b> (pp.98-99) □canを使った文や現在進行形の文の構造や、疑問詞の用法を正しく理解し、運用する。	<b>文法事項</b> 助動詞can／現在進行形／Whatなどで始まる文	<b>関</b> : わからない語があっても、聞き続けようとしている。[活動の観察] <b>理</b> : 大切な情報を正しく聞きとることができる。[記述分析/ (後日)リスニングテスト]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】 ◆「発音クリニック」は、日本語の説明を読んで自分で音読して	

					みる。登校した際、先生に読み方を確認する。 (1時間)
1	4 (2)	10 Mike's Visit to Washington, D.C. (pp.100-105) 由紀はアメリカに帰国したマイクから手紙を受け取る。 ①過去にしたことを説明する。 ②過去にしたことについてたずねる。 ③理由をたずねる。 □過去時制の表現を正しく理解し、運用する。 □Why ~? Because ~. の応答表現を正しく理解し、運用する。	文法事項 一般動詞過去(規則)(肯定・疑問) / Whyの疑問文, Because ~. ①I visited Washington, D.C. last month. Oh, I lived there ten years ago. Really? I liked the museums there. ②We have a math quiz today. Did you study last night? Yes, I did. / No, I didn't. ③I study English every day. Why do you study it so hard? Because I like English songs.	関・表: 多少のミスを気にせず、話を継続しようとしている。(1分間の発話語数, 意味が理解できる) [PT] 関・表: 辞書を使うなどして, 積極的に書こうとしている。 [活動の観察] 表: 文章構成に気をつけながら, まとまりのある文章を書く。 [記述分析] 知: 既習の文法表現を正しく使う。 [記述分析]	本時の活動の一部を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆Speak, Try は, 対話する内容を英文で書き, 登校した際に先生に提出する。 ◆新出文法学習後に副教材などの練習問題を行う場合は, 授業で1,2問解き方を指導して理解を深めた後, 残りの問題に取り組み, 登校した際に先生に提出する。 ◆新出語句の練習は授業である程度定着した後は, 各自で復習し定着を図る。 ◆教科書本文の音読練習は授業である程度定着した後に, 復習し定着を図る。 ◆余裕のある生徒は, 日本語訳を見ながら教科書本文を英語で言える, そして, 書けるように練習をする。【本文訳が必要】 ◆Q, Write は, 英文で書いて表現できるものは, 登校した際に先生に提出する。 (2時間)
2	2	PU 10 S 買い物①(Tシャツを買う) (pp.106-107) □買い物で用いる定型表現を覚え、運用する。	語句・表現 Can I help you? How much is it? Here you are.	関: 積極的に活動に取り組もうとしている。 [活動の観察] 表・理: 買い物に必要な表現を用いて話す。 [活動の観察] 知: ドル紙幣やコインについて知識がある。 [活動の観察]	※授業で行う必要がある。
	4	MP 3 知りたい情報を引き出そう (pp.108-113) □既習の文法事項を復習して, 運用する。	文法事項 1 What's your name? How old are you? Where do you live?, etc. 2 Greetings / Weather / Name, Hometown, Age, Height / Job / Profession / Family / Address / Hobbies	表: 文法事項などの知識を活用して, 正しく応答する [(後日)PT] 理: 質問に対する応答を正しく聞きとる。[(後日)リスニングテスト]	※授業で行う必要がある。

			/ Time / Place, etc.			
3	5	11	<b>Grandma Baba and Her Friends on a Sleigh</b> (pp.114-119) ばばあちゃんと動物たちの物語。 ①過去の事柄を説明する。 ②登場人物の様子を描写する。 ③状況について描写する。 <input type="checkbox"/> 不規則動詞の過去時制の表現を正しく身につけ、運用する。	<b>文法事項</b> 一般動詞過去(不規則)(肯定・疑問) ①Where <b>did</b> you <b>go</b> last Sunday? I <b>went</b> to the ABC Sports Shop. <b>Did</b> you <b>go</b> there by bike? No, I <b>didn't</b> . I <b>went</b> there by bus.	<b>関</b> : 間違いを恐れず、積極的に話そうとしている。 [活動の観察] <b>表・理</b> : 質問を理解し、過去時制の表現を正しく用いて話す。 [活動の観察] <b>関</b> : 多少のミスを気にせず表現する。 [活動の観察] <b>表</b> : 大切な情報を落とさずに話す。 [録音分析]	※授業で行う必要がある。
	2	PU 11	<b>W 日記</b> (pp.120-121) <input type="checkbox"/> まとまった内容の文章を書く。 (何をしたか? 出来事(事実)を順番に書く。そして、感想を述べる。)	<b>語句・表現</b> I went <u>to Osaka</u> yesterday. I went to Osaka <u>with my cousin Ayame</u> yesterday. We enjoyed Osaka very much.	<b>表</b> : 状況にふさわしい表現を用いて書く。 [記述分析] <b>理</b> : 書かれた内容から書き手の意向を読みとる。 [記述分析]	※授業で行う必要がある。
	0 (1)		<b>英語のしくみ ④</b> (pp.122-124) <input type="checkbox"/> 規則動詞・不規則動詞の過去形の文の構造について理解する。 <input type="checkbox"/> 動詞の過去形の語形変化について正しく理解する。 <input type="checkbox"/> 変化形の作り方	<b>文法事項</b> 規則動詞の過去形/ 不規則動詞の過去形/ 名詞の複数形, 3単現のs, 動詞の-ing形, 規則動詞の過去形	<b>関</b> : わからない語句があっても辞書などを用いて積極的に読み進めようとしている。 [活動の観察] <b>理</b> : 書かれた内容から書き手の意向を理解する。 [記述分析/(後日)ペーパーテスト] <b>知</b> : 既習事項を正しく使う。 [記述分析] <b>表</b> : 文の構成を考えて、まとまりのある文章を書く。 [記述分析] <b>関・表</b> : 聞き手を意識して、強調して話す。 [活動の観察]	本時の全活動を学校の授業以外の場で取り組む。取り組む内容は以下のとおり。 ◆ここまでのProgramの学習内容やBasic Dialogの説明を参考に、学んだことを振り返り、要点を学習する。 ◆練習問題に取り組む。【解答が必要】
計	75/96				(1時間)	
					(21/96 時間)	